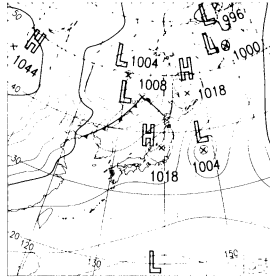


# 日々の天気図

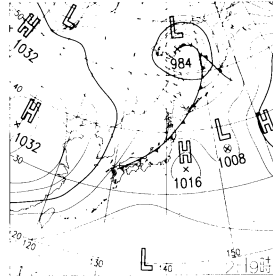
No. 33

2004年10月

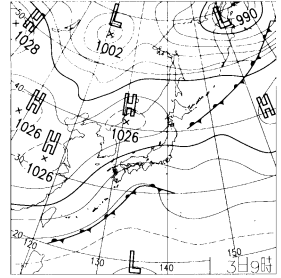
- ・8日、前線により近畿～関東南部で日雨量200mmを超える大雨。
- ・9日、台風第22号が関東に上陸。横浜市の最大瞬間風速39.9m/s。
- ・20日、台風第23号上陸。今年10個目の上陸台風。暴風・大雨・高波等により、各地に大きな災害。
- ・23日、「平成16年新潟県中越地震」(気象庁予報部予報課)



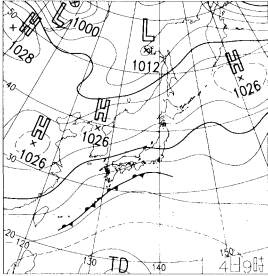
**1日(金)富士山測候所非常駐化**  
北日本は気圧の谷の接近で曇り。その他は高気圧に覆われてさわやかな晴天。この日、富士山頂での年を通しての観測員の駐在中止となり、72年の有人観測の歴史に幕。



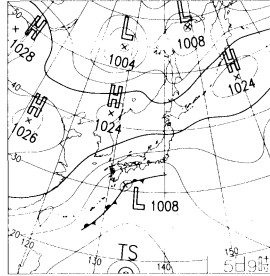
**2日(土)関東はさわやかな晴れ**  
関東は高気圧に覆われ、さわやかな晴れ。その他は北海道から山陰にのびる前線の近傍を中心に雨や曇り。米大リーグでイチロー選手が年間最多安打の記録を樹立。



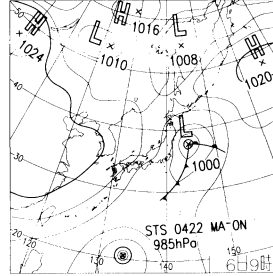
**3日(日)利尻山初冠雪**  
前線や気圧の谷の影響で東海～東北は雨。その他は概ね曇り。近畿～北海道は日中の気温が低く、盛岡市の最高気温は11月上旬並。利尻山で今年全国初の初冠雪。



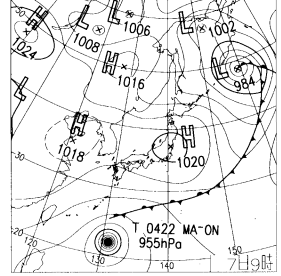
**4日(月)台風第22号発生**  
秋雨前線が関東の南海上～沖繩付近に停滞。東北～東日本は冷たい雨。最高気温は東京・仙台市で平年より5℃以上低い、11月上旬並。西日本は概ね晴れ。



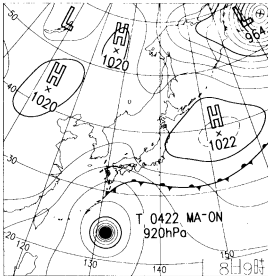
**5日(火)秋雨前線活発化**  
秋雨前線上の四国の南海上に低気圧が発生し、北東へ進む。東北～近畿は雨。その他は曇りや晴れ。太平洋側は日雨量100mmを超える大雨。愛知県豊橋市で204mm/日。



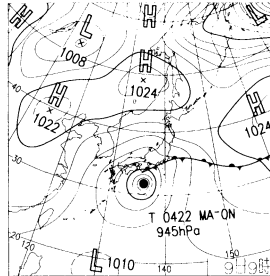
**6日(水)関東南部震度5弱**  
低気圧が三陸沖を北東に進む。北海道・東北の太平洋側に曇りや雨の他は概ね晴れ。茨城県南部を震源とする地震で、茨城・埼玉県で震度5弱。東京でキンモクセイの芳香。



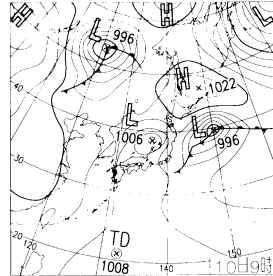
**7日(木)台風第22号勢力強める**  
高気圧に覆われ全国的に概ね晴れ。高気圧の西側となった紀伊半島や四国は東風の影響で雨。台風第22号は勢力を強め、南大東島の南海上を北へゆっくり進む。沖縄は夜に雨。



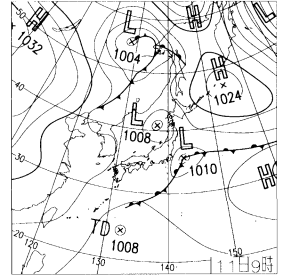
**8日(金)近畿～関東南部大雨**  
高気圧が東進し北日本は曇り。東・西日本は本州南岸の前線の影響で雨。近畿～関東南部は、太平洋側を中心に、150～200mm/日の大雨。台風第22号は非常に強い台風に発達。



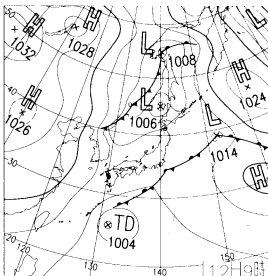
**9日(土)台風第22号関東を横断**  
台風第22号は、東日本としては過去最強の勢力で伊豆半島に上陸。静岡県熱海市(網代)で最大風速39.4m/s。最大瞬間風速63.3m/s。いずれも歴代1位。静岡市で日雨量262mm。



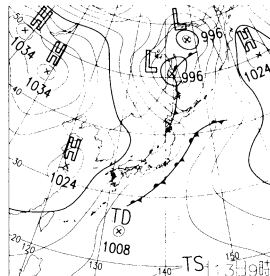
**10日(日)台風一過の晴天にならず**  
台風は日本の東海上に進むが、日本付近は引き続き気圧の谷。日本海に低気圧が発生し、近畿・北陸で晴れた他は曇りや雨。鳥取県米子市等、山陰で100mm/日を超える大雨。



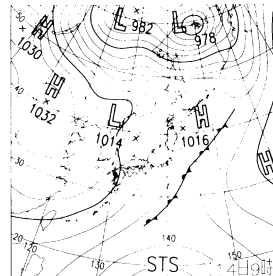
**11日(月)3連休東京で日照なし**  
日本海と関東沖の低気圧により、東日本や北日本は曇りや雨。西日本や南西諸島は概ね晴れ。東京では連休期間中の日照時間ゼロ。石垣島で鷹の一種の渡り鳥サンバが南下。



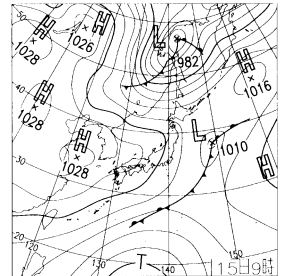
**12日(火)北海道から秋の便り**  
日本海の低気圧は次第に衰弱。沿海岸の前線上に低気圧が発生。本州南岸には秋雨前線が停滞。北日本や関東～近畿は曇りや雨。釧路でイタヤカエデ紅葉。今秋全国初の紅葉。



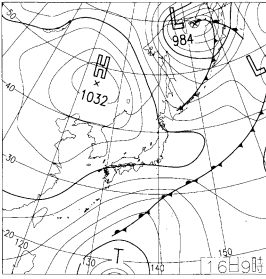
**13日(水)台風第23号発生**  
寒冷前線と停滞前線の影響で北・東日本は雨や曇り。その他は大陸から張り出す高気圧に覆われ晴れ。根室でヤマモミジ紅葉。マリアナ諸島で台風第23号が発生。



**14日(木)北海道は冬の装い**  
日本海には上空の寒気に伴う低気圧があり、山陰や北陸では雷雨。その他は高気圧に覆われ概ね晴れ。北海道倶知安町で、この秋全国初の初霜・初氷。各地で部分日観測。

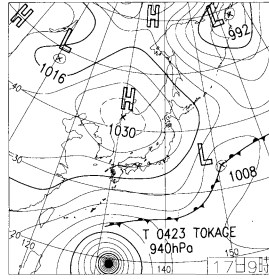


**15日(金)北アルプス等で初冠雪**  
高気圧に覆われ全国的にさわやかな晴れ。関東は8日ぶりの青空。放射冷却により朝の気温は全国的に平年より低め。兼鞍岳・立山・旭岳等で初冠雪。沖縄県与那国町で震度5弱。



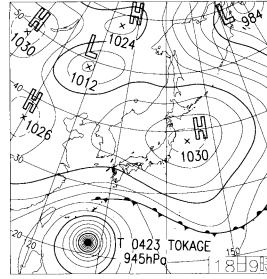
### 16日(土)台風第24号発生

大陸から張り出す高気圧に覆われ、西日本を中心に晴れ。東北～関東は冷たい北東風や気圧の谷の影響で曇りや雨で、日中の気温は平年より3～5℃低い。台風第24号が発生。



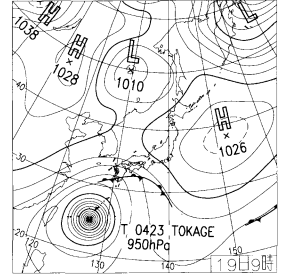
### 17日(日)超大型台風第23号

台風第23号は超大型で非常に強い台風に発達。台風の接近により南西諸島は曇りや雨。その他は優勢な移動性高気圧に広く覆われ快晴。関東以北の気温は平年より2～4℃低い。



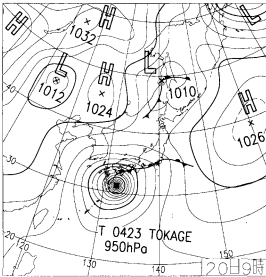
### 18日(月)旭川市氷点下

高気圧に覆われ広い範囲で晴れるが、西日本の太平洋側と沖縄は前線や台風の影響で曇りや雨。北・東日本は放射冷却により朝の気温が下がり、北海道旭川市は今季初の氷点下。



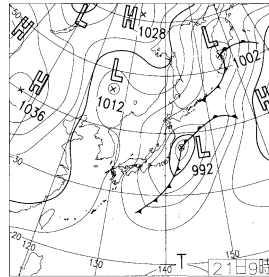
### 19日(火)奄美・沖縄暴風雨

高気圧の西側の北日本は曇り。関東以西は大型の台風第23号と前線により雨。南西諸島は暴風雨と猛烈なしけ。沖縄県金武町で140 mm/日、那覇市で最大瞬間風速48.0 m/s。



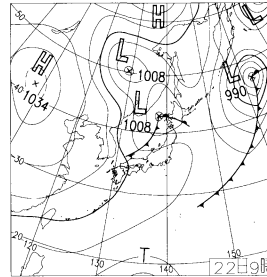
### 20日(水)台風高知県に上陸

今年10個目の台風が高知県に上陸。関東～九州の広い範囲で200 mm/日を超す大雨。徳島県上勝町470 mm/日、三重県宮川町で19時までには386 mm。各地で物的・人的に甚大な被害。



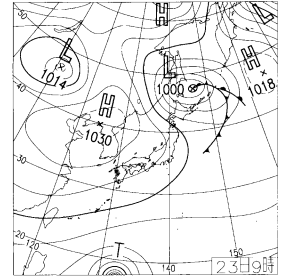
### 21日(木)富士山初冠雪

台風第23号から変わった低気圧の影響で東北～関東は雨。海上は大しけが続く。西日本や南西諸島は乾燥した空気が入り台風一過の晴れ。富士山は、平年より20日遅く初冠雪。



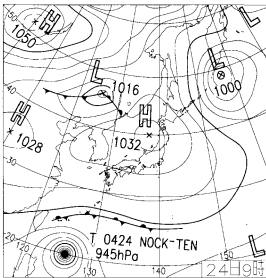
### 22日(金)北海道で海上の竜巻

低気圧が北海道を通過し、寒気の入った北日本は曇りや雨。その他は高気圧に覆われ晴れ。北海道門別町で、寒冷前線の通過に伴い海上で発生した竜巻が陸上へ進入。



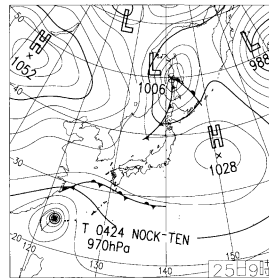
### 23日(土)新潟県中越地震

北陸から北の日本海側は寒気の影響で曇りや雨。北海道で初雪。その他は高気圧に覆われ、ほぼ全国的に晴れ。新潟県中越地方でM6.8、震度7の地震。震度5弱以上の余震多発。



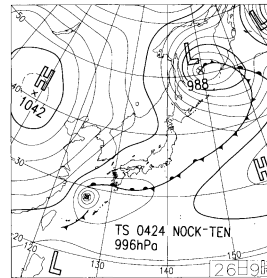
### 24日(日)新潟県中越余震続く

移動性高気圧に覆われ北日本～西日本は概ね晴れるが、関東～東海は東風の影響で曇り。南西諸島は台風第24号の接近や前線の影響で曇りや雨。新潟県中越地方は余震が続く。



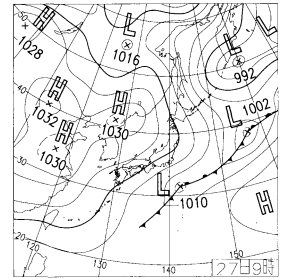
### 25日(月)与那国島暴風雨

寒冷前線が通過した北日本の日本海側は雨。台風第24号や前線に近い九州・沖縄は曇りや雨。その他は晴れ。台風が接近した与那国島で、最大瞬間風速43.5 m/s、日雨量93.5 mm。



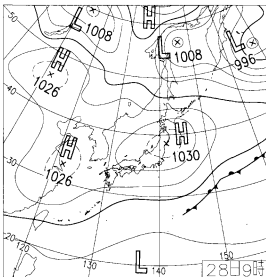
### 26日(火)新潟被災地に冷たい雨

台風第24号は温帯低気圧化し、南海上で前線が顕在化。全国的に雨。オホーツク海の低気圧が発達して日本付近に寒気が入り、新潟県中越地震の被災地に冷たい雨。



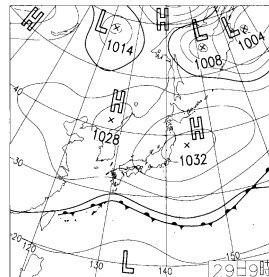
### 27日(水)北海道各地で積雪

強い寒気が入り、北陸から北の日本海側は雨や雪。その他は晴れや曇り。北海道幌加内町41 cm、札幌市8 cmの積雪。気温は全国的に平年より低め。新潟県中越で震度6弱の余震。



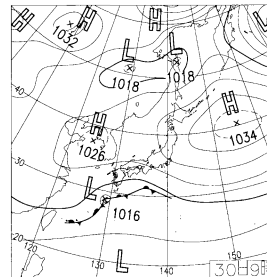
### 28日(木)放射冷却

移動性高気圧に広く覆われ全国的に晴れ。放射冷却により、最低気温は各地で平年を下回り、地震被災地の新潟県十日町では平年より約4℃低い3.0℃。東北～関東北部で初霜。



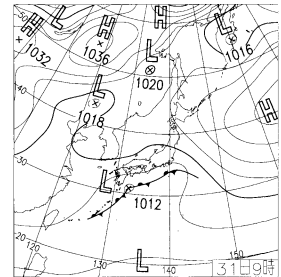
### 29日(金)西日本から天気崩れる

南海上で前線が顕在化し、九州の南に低気圧が発生。西日本の太平洋側は曇りから雨。その他は高気圧に覆われ概ね晴れ。関東では巻雲が増加。上空が温ってきたことを示唆。



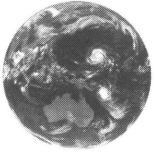
### 30日(土)北海道は温かい1日

南海上の前線の活動が活発化し、九州・四国～東日本にかけて雨。東北は曇り。北海道は高気圧の圏内で、晴れて気温上昇。札幌市の最高気温は10月上旬並の18.6℃。



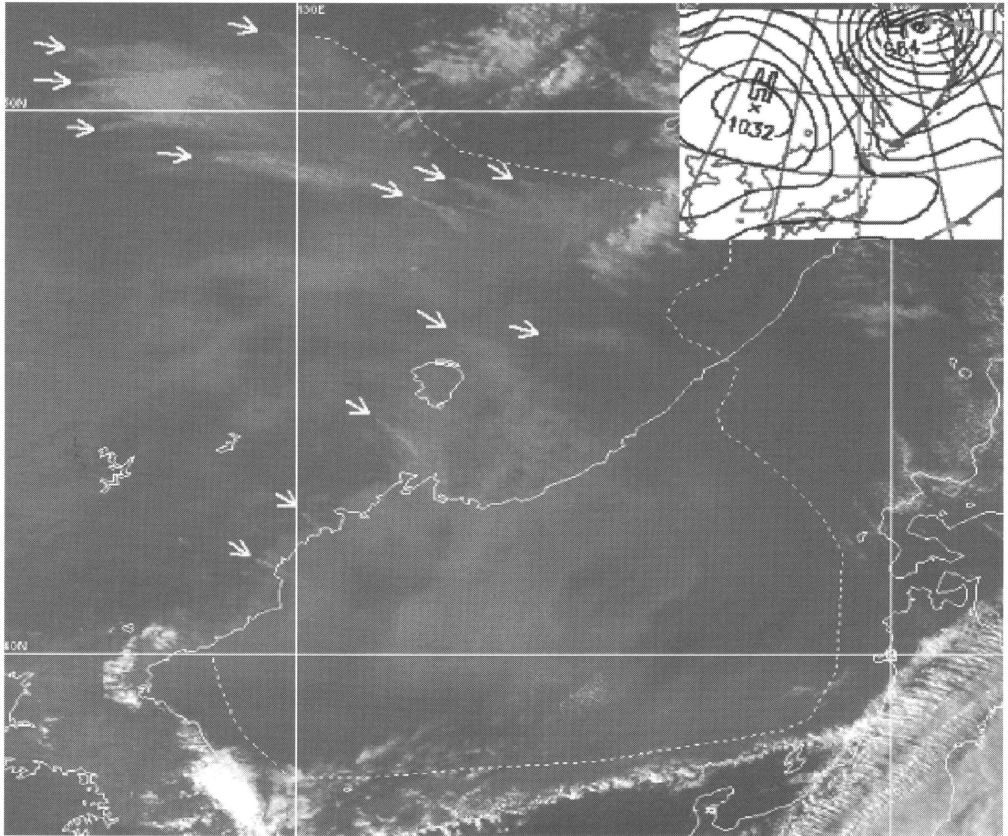
### 31日(日)早朝の雷雨

本州南岸の前線は引き続き活動が活発。日本海側の一部で晴れた他は、全国的に曇りや雨。関東～近畿の太平洋側は朝の内所々で雷雨。三宅島阿古で71.5 mm/hの非常に激しい雨。



## 今月の衛星画像—2004年10月

### 衛星画像から見たロシア森林火災の発生源と煙の拡散



2004年10月16日16時の可視画像

右上 2004年10月16日09時の地上天気図

10月17日付毎日新聞によるとロシア極東の森林地帯で10月16日に大規模な火災が発生し、同日夕方時点で約1万6800ヘクタールが延焼した。このような大規模で長時間に及ぶ山火事は、上空に雲がなければ衛星画像から検出が可能である。

写真は16日16時の可視画像<sup>\*1</sup>で、画像から見た森林火災の発生源と思われる位置を矢印で示した。16日09時の地上天気図では、中国東北区に高気圧、カムチャツカ半島に低気圧の気圧配置となっている。森林火災による煙は、概ねこの高気圧の縁辺を円弧状に日本海

へ拡散している<sup>\*2</sup>。なお、日本海付近に拡散した煙は、高層観測や数値予報資料等によると850 hPa 付近の風向・風速との対応が良いことから、その高度は1500 m前後と推定される。また、煙の一部は北海道方面にも流れ、稚内市等で煙の影響と思われる視程の低下がみられた。

※1 煙が見やすいように階調を調整してある。

※2 拡散した煙の先端付近を破線で示した。北海道付近は煙が薄くて判り難い。

(気象衛星センター)